

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



中学校生徒会による入学説明会がありました！

2月21日（水）の5限目に、子どもたちを対象とした「一身田中学校入学説明会」が開催されました。当日は、一身田中学校生徒会の2名の生徒に、栗真小学校に来ていただき、映像を交えながら丁寧に説明していただきました。6年生の子どもたちは、大切だと思ったことや関心のあることを、タブレット端末にメモとして打ち込んだり、画像を取り込んだりしながら、熱心に聞き入っていました。

まず、一身田中学校は、私服での通学が認められていることや、敷地内に自動販売機があることなど、一身田中学校ならではの特徴を教えてくださいました。また、1時限が50分授業になること、そのことにより給食の開始時刻が12時40分となること、午後からの授業の前に「昼学」の時間があることなどを教えてくださいました。そして、1年間にテスト期間が7回あることがテレビ画面に映ると、タブレット端末で画像を取り込む音が次々に聞こえてきたことが印象的でした。



次に、年中行事の説明がありました。中学校では、「体育祭」「文化祭」「百人一首大会」「球技大会」に、夏の部活動の「壮行会」など、小学校にはない行事がたくさんあります。また、「会社をつくろう」「職場体験」「ボランティア活動」など、社会体験活動があるのも特徴です。3年生での修学旅行は、中学校では2泊3日になり、今年度の主要な目的地は、平和学習に取り組む広島の平和公園と、大阪でのUSJだったそうです。

そして、6年生の子どもたちにも関心が高いクラブ活動の紹介をしていただきました。それぞれの部に属する部員による説明と練習の様子を映像で紹介していただき、それぞれのクラブの特徴がよく分かりました。一身田中学校には、運動部が、男子と女子に分かれているクラブもすべて合わせると合計11クラブ、文化部が3クラブあり、市内の中学校でも全体のクラブ数としては多い方だと思います。

他にも、クイズで学校の特徴を紹介していただいたり、事前に渡してあった質問に答えていただいたりしました。説明会前には、期待よりも不安の方が大きかった6年生でしたが、一身田中学校の様子を丁寧に説明していただいたおかげで、不安よりも期待の方が大きくなったのではないかと思います。一身田中学校の生徒会の皆さん、ありがとうございました。



「津市架け橋プログラム」が始まるよ！

津市では、20年以上前から、幼稚園や保育園と小学校との間で、幼保小連携の取組を進めてきました。この連携の取組は、子どもたちの交流や先生たちの交流、小学校に入学する前に実施する子どもたちの情報交換が中心でしたが、この取組だけでは、「小学校の生活に子どもたちが慣れるまでに時間がかかる」ということが長年の課題でした。そこで誕生したのが「架け橋プログラム」です。簡単に言えば、幼児期と児童期のカリキュラム（学びの内容や進め方）を円滑に接続する取組です。津市では、来年度からすべての小学校区で、「架け橋プログラム」の取組が始まります。この取組のねらいは「幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携して、カリキュラム・教育方法の充実及び改善にあたることを推進」することです。栗真小学校は、栗真保育園とともに取り組んでいきます。

津市における「架け橋プログラム」で大切にしていけることは、園と小学校の先生がお互いの理解を深めていながら、架け橋期のカリキュラムを作成していくことです。先生たちが、子どもの姿、学び、育ちを楽しく語り合いながら、お互いの理解を深めていきます。

基本的には、小学校区の子どもの実態について語り合うことが中心となります。具体的には、1学期には、「めざす子ども像」について語り合いながら、子どもたちに育みたい資質・能力について語り合います。また、その資質・能力を育むために、先生の関わり方や環境づくりなど、配慮すべきことを考えていきます。2学期には、園や学校における子どもに関わるエピソードをもちよって、子どもの姿、学び、育ちを中心に語り合います。そして、3学期には、小学校区の架け橋期カリキュラムを作成していきます。お互いに忙しい中での取組なので、どこまで進めていくことができるか分かりませんが、子どもたちのよりよい成長につながるような取組になればと思います。

学校保健委員会を開催しました！

2月29日（木）に、学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会とは、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の方々をお招きし、学校保健に係る様々な課題をテーマにし、取組に対するご助言等をいただく会です。学校からは、管理職と保健主事、養護教諭が参加しました。また、保護者代表として、PTA会長の岩本様にも参加していただきました。

今年度の学校保健委員会では、学校保健と食育の分野に大きく分けて、養護教諭から説明を行いました。学校保健の分野では、子どもたちの健康状況や、保健室の利用状況、養護教諭による保健指導の説明とともに、「飲料水の水質検査」「教室の照度検査」などの学校環境衛生検査の結果についても報告しました。また、食育の分野では、給食指導を含め、食に関する指導の取組について説明しました。さらに、近年、環境異変により熱中症の被害が全国的に多く見られるようになってきたことから、熱中症についての話題も提示しました。

学校歯科医の先生からのお話として「子どもの虫歯は、家庭での歯磨き指導や食生活の影響が大きいこと」「食後にデザートとして菓物を過剰に与えることは、肥満につながること」「グレープフルーツやスポーツ飲料、炭酸ジュースなどの過剰な摂取は、歯の表面を溶けやすくすること」「唾液は口腔内の酸性を中性にしてくれること」「口腔内が唾液によって中性になってからの歯磨きが良いこと」「食後の歯磨きは、口腔内の付着物を除去するのに有効であること」などを教えていただきました。学校保健委員会においていただいたご助言は、今後の学校保健に係る取組に活かしていきたいと思っております。